

聖マ その先の年にはリボンでし 耳で聞くもので それは手で遊んだり眼で見たり その訳は聖マ ほうなぜね ヴアオリンもほ あたしはもう玩具も人形も あたしは十六になりました 今年は何を下さいます 一昨年はお 去年はヴァ あたしに何 あなたは今年 ン か下さる リア様に クラスお のだ 才 つてお聞きなさるの 人形を下さいました リア様が リンを下さい 0 はあ つたらどうぞ しくはありませ 物を下さいますか? クリスマ ぢさまへ ね下 りません 御存じです スにも たわ ましたね h ね 0

星屑を集めた中にふたしずく マリアの告げし虚空と鼓動

落波

十二月五

さやうなら

しづ

俺の歌をすべてお前にやる。 だからお前のその歌をくれ。

水の流れ

木々のくらがり、橋の裏、水の奥、あいらしい香りがひたいにふりかかった つめたかったけれどわらかさに満ちてい た

幾重もくらさを重ねるように

あたりには

くさぐさの死とくさぐさの悲しみが沁み込んで

イマージュの水は飲み込むものからやってくるわたしたちはみんな帰路につく

夜のほうもわたしのことを了解していたわたしはその事を知っていたし とおく橋をわたる電車のあかりはとても近いのだっ のぞみははるか遠くへといってしまうが、

た

変電所のそばをすぎ

責任者のおざさま 副責任者のおざさま

清水らくは

浮島(元・半島)

7 無責任

Ь

第 10 号

せかいは丸みを帯びていたが、女友だちのたんぼのあぜ道を赤いイヤホンの男が歩い 女友だちの悲しみも丸かっ

た

わたしはどこへもいけないし、 とおくには何もなかった

送電線のむこうから風がふい

くらきよりくらき道にぞ入りぬべき遥かにてらせ山の端の月

和泉式部

竹久夢

rakuha@ho+mail.com

餐行日 連絡先

2012年12月1